



横須賀市 スポーツ 推進計画

2018年度～2025年度



平成30年(2018年)3月策定
令和5年(2023年)3月中間見直し

横須賀市

目 次

はじめに	1
第1章 計画の見直しにあたって	2
第2章 スポーツ推進施策	3
1 目標	
2 目標達成に向けた施策	
第3章 目標指標および進捗管理	15
用語の解説	21

はじめに

横須賀市では、平成 30 年（2018 年）3 月に策定した「横須賀市スポーツ推進計画」に基づいて、スポーツによる地域の活性化をはじめとする様々な目標達成のための取り組みを行ってきました。

しかし、令和元年度（2019 年度）末ごろからの新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、様々な社会的活動が制限されるなど、市民生活に甚大な影響を与えています。

特にスポーツ関連では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催延期をはじめとして、プロ野球や J リーグといったプロスポーツ業界でも開催中止や延期、無観客での試合開催など、その影響が色濃く反映されています。

もちろん市民スポーツにおいても、様々な大会や試合・活動ができない、施設が使用できないなどの、これまでは考えられない多大な影響が生じました。

こういった社会状況を踏まえながら、さらなる市民スポーツの振興、スポーツを通じた地域の活性化、地域経済の発展、健康増進による健康長寿社会の実現などを目指し、「横須賀市スポーツ推進計画の一部見直し」を行うこととしました。

第1章 計画の見直しにあたって

1 計画見直しの趣旨

「横須賀市スポーツ推進計画」（以下、「本計画」）は、国のスポーツ基本計画が平成29年（2017年）3月に「第2期計画」として改定されたことを受け、平成30年（2018年）に策定しました。

本計画は、計画期間を平成30年度（2018年度）から令和7年度（2025年度）の8年間とし、その中間年に計画の見直しを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によって、目標達成のためのほとんどの施策が実施できない状況となったことから、令和3年度（2021年度）においては見直しを行いませんでした。しかし、新型コロナウイルスに対する国等からの制限緩和や、国の「第3期スポーツ基本計画」が策定されたことなどを踏まえ、実状を勘案しながら本計画の一部見直しを行うこととしました。

2 本計画の位置づけ

令和4年3月に策定された国の「第3期スポーツ基本計画」をはじめ、新たに令和4年度（2022年度）を起点とする「横須賀市基本構想・基本計画」、「横須賀市教育振興基本計画」が策定されたことを踏まえつつ、本計画の目標達成に向けた施策や目標指標の追加・削除、数値の見直しなどを行いました。

3 計画の期間

「横須賀市スポーツ推進計画」の計画期間は、平成30年度（2018年度）～令和7年度（2025年度）の8年間です。

今回は当初の見直し予定である令和3年度（2021年度）から1年遅れての見直しとなりましたが、計画期間は変更せず、令和7年度（2025年度）における目標指標の達成を目指します。

スポーツ基本法（抜粋）

第二章 スポーツ基本計画等（地方スポーツ推進計画）

第十条 都道府県及び市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十四条の二第一項の条例の定めるところによりその長がスポーツに関する事務（学校における体育に関する事務を除く。）を管理し、及び執行することとされた地方公共団体（以下「特定地方公共団体」という。）にあっては、その長）は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

第2章 スポーツ推進施策

1 目標

- (1) スポーツによる地域の活性化を図ります
- (2) 誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります
- (3) 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好家の裾野を拡大します
- (4) 国際競技大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します
- (5) スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します
- (6) 関係団体、企業と連携したスポーツ施策を推進します
- (7) 子どもの健やかな体を育成します



2 目標達成に向けた施策

(1) スポーツによる地域の活性化を図ります

ア スポーツ大会に参加する人、応援する人、観戦する人など、本市への来訪者を増やすため、大規模なスポーツ大会等の誘致を推進します

- ・ ウインドサーフィンワールドカップの継続開催
- ・ 三笠艦記念スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会の継続開催
- ・ BMX フリースタイルジャパンカップの開催
- ・ プロスポーツチーム公式戦の継続開催・誘致
- ・ 「JAPAN DANCE DELIGHT 横須賀大会」、
「高校ストリートダンスグランプリ」の開催



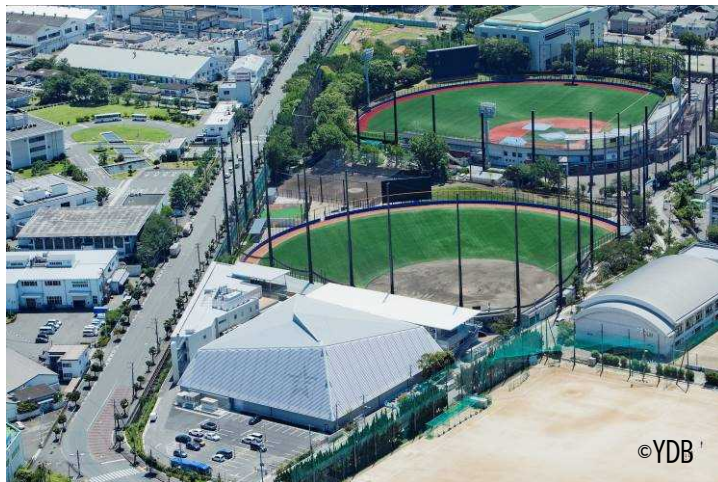
ANAウインドサーフィンワールドカップ
横須賀・三浦大会



マイナビ JapanCup Yokosuka

イ 大規模スポーツ大会の開催等が、地域の活性化に結びつくような仕組みやその効果を検証する方法を検討し、実施します

- ・ 地元商店街や商業施設との連携による事業推進
- ・ スポーツ団体や民間企業との連携協定による事業推進
- ・ 来訪者アンケートによる経済効果測定
- ・ スポーツ大会およびスポーツ合宿への開催支援補助金交付事業
- ・ ウインドサーフィンワールドカップを契機とした津久井浜地域の
「マリンスポーツのまち」としての認知度向上
- ・ 横浜DeNAベイスターズ総合練習場を拠点とした追浜地域の
スポーツを核としたまちづくり
- ・ 横浜F・マリノス練習場を拠点とした久里浜地域のスポーツを
核としたまちづくり
- ・ 「アーバンスポーツのまち横須賀」の実現に向けたプロジェクトの推進



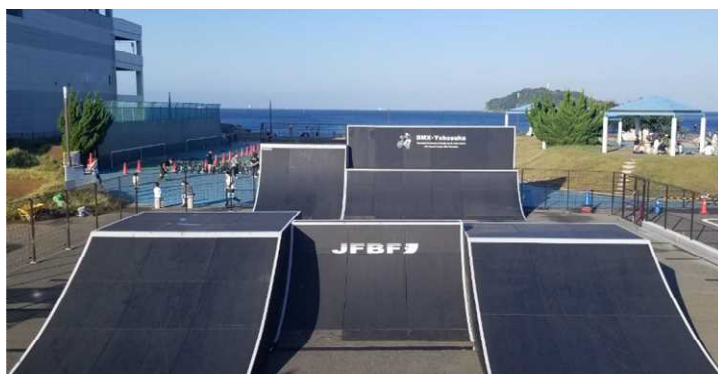
横須賀スタジアムと DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA



F・Marinos Sports Park ～Tricolore Base Kurihama ～

ウ 新たなスポーツ需要を掘り起こして、場や機会を提供し、スポーツをするために本市を訪れる人を増やします

- ・ アーバンスポーツの環境整備
- ・ 各海岸の特性に合ったマリンスポーツの調査
- ・ マリンスポーツの幅広い世代に向けた普及促進
- ・ アーバンスポーツの幅広い世代に向けた普及促進
- ・ よこすかシーサイドマラソンの継続開催



うみかぜ公園BMXパーク

(2) 誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります

ア 市民がそれぞれの興味・関心などに応じて、日常的にスポーツ、レクリエーションに親しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会の確保に努めます

- ・ 市民スポーツ教室の実施
- ・ 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- ・ 市民レクリエーション大会（レクリエーションフェスタ）（春・秋季）の開催
市民を対象としたニュースポーツ等の体験
- ・ 町内会等での夏季期間における早起きラジオ体操の会の実施促進
- ・ 市民球技大会の開催
児童ソフトボール・ミニバスケットボール大会、
成人ソフトボール・バレーボール大会
- ・ よこすかスポーツフェスタの開催
市民を対象に、各体育会館、不入斗公園陸上競技場等を使用して
スポーツを楽しむイベント
- ・ ソフトバレーボール大会の開催（市スポーツ推進委員協議会主催）
- ・ グラウンドゴルフ大会の開催（市スポーツ推進委員協議会主催）
- ・ 1万メートルプロムナード・ウォークの開催（市スポーツ協会主催）
- ・ 幸齢者（高齢者）健康のつどいの実施
60歳以上の高齢者による軽運動会
- ・ スポーツ能力測定会の開催（シティサポートよこすか主催）
子どもを対象に、測定機器を用いた運動能力の計測を行い、
最大限にパフォーマンスを発揮できるスポーツの紹介と
一番得意とする動きのアウトプットによって、
自信を持ってスポーツに挑戦するきっかけづくりを行う



市民スポーツ教室

イ 障害の有無などにかかわらず、スポーツを楽しむ機会の確保に努めます

- ・ 肢体不自由児者運動会の開催
身体を動かす機会の少ない肢体不自由児者が、運動会を通じ、ボランティアとともに秋の一日を楽しく過ごす
- ・ ふれあい運動会の開催
知的障害児者及びその家族等がスポーツを通じて健康維持と親睦を深める
- ・ スポーツ能力測定会の開催（シティサポートよこすか主催）
- ・ スポーツフェスタでのパラスポーツ体験会の実施
県の障害者スポーツ講師派遣を活用したボッチャ体験会など
- ・ 全国車椅子マラソン in 横須賀の開催支援
市内小中学生を対象とした車椅子体験交流会や、小学生から一般までの車椅子マラソン競技を開催
- ・ 障害児者による大規模スポーツ大会の誘致

(3) 競技者の活動を支援するとともにスポーツ愛好家の裾野を拡大します

ア スポーツに対する市民の関心と理解を深め、スポーツへの市民の参加・支援を促進するよう努めます

- ・ 市民体育大会の開催
年間を通して多種目（合気道・アーチェリー・カヌー・空手道・弓道・クレ射撃・ゲートボール・剣道・ゴルフ・サッカー・山岳・銃剣道・柔道・少林寺拳法・水泳・スキー・相撲・ソフトテニス・ソフトボール・太極拳・体操・卓球・ダンススポーツ・テニス・なぎなた・バスケットボール・バドミントン・バレーボール・ハンドボール・パークゴルフ・ボウリング・ボクシング・野球・ヨット・ライフル射撃・ラグビー・陸上競技・レスリング）の競技大会
- ・ 少年野球大会の開催
市内の少年野球チーム（軟式野球）が一堂に会し、小学生・中学生別にトーナメント方式による大会
- ・ 市民駅伝競走大会の開催
市内の駅伝愛好者約 100 チームによる駅伝大会
- ・ スポーツ能力測定会の開催（シティサポートよこすか主催）
- ・ マラソン大会の開催（よこすかシーサイドマラソンなど）
- ・ トレイルランニング大会の開催支援

- イ 本市をホームタウンとする横浜DeNAベイスターズ、横浜F・マリノスなどトップレベルのプロスポーツチームとの連携強化を図り、スポーツへの関心を高めます

- ・ ホームタウンチーム活動推進事業

横須賀市をホームタウンとする横浜 DeNA ベイスターズファームチーム、横浜F・マリノスなどのチームのプロスポーツ選手、コーチが直接学校や幼稚園等を訪問し、授業を行うことにより、園児、児童、生徒に夢と感動を与え、スポーツに対する関心を高めます



横浜 DeNA ベイスターズによる小学校訪問授業



F・マリノススポーツ巡回教室

(4) 国際競技大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します。

ア 国際競技大会や全国大会等に出場する代表選手に対し、奨励金の交付や壮行会の実施をととして、選手の負担軽減や代表選手の意識の高揚を図ります

- ・ 奨励金の支給と国民体育大会等壮行会の開催
- ・ かながわ駅伝競走大会への選手派遣
- ・ 市スポーツ協会と連携したスポーツ選手育成強化事業の推進
- ・ 「スポーツ基金」、「スポーツで夢をかなえる基金」を活用した支援



かながわ駅伝競走大会への選手派遣

イ 国際競技大会や全国大会に出場する選手や、長年スポーツ振興に功績のあった方に対し、その功績をたたえるスポーツ関連の表彰を実施します

- ・ スポーツ大賞、スポーツ栄光章表彰
- ・ 市体育功労者の表彰、県スポーツ功労者の推薦



横須賀市スポーツ表彰式

(5) スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します

ア 体育会館、運動公園等体育施設の利用促進と円滑な運営管理を図ります

- ・ 体育会館、屋外運動施設の管理委託

イ 安全で快適な体育施設とするため、計画的な営繕・改修を進めるとともに、必要な体育施設を整備します

- ・ 体育会館、屋外運動施設の営繕工事

ウ 民間の体育施設を保有する企業等と連携し、スポーツの場を提供します

- ・ 体育施設を保有する民間企業との連携

エ 学校体育施設を開放し、施設の有効活用を促進します

- ・ 学校体育施設開放奨励事業（体育館、校庭、プール）

オ 体育会館ほか運動施設における障害のある方等への対応マニュアルの整備



(6) 関係団体、企業と連携したスポーツ施策を推進します

ア スポーツを指導するだけでなく、スポーツの素晴らしさを伝えるなどのコーディネーターの役割も担うスポーツ指導者の育成を図ります

- ・ スポーツ推進委員協議会の各種研修
- ・ 市スポーツ協会主催のスポーツ学習・講習会
- ・ 少年期スポーツ障害予防での指導者向け講話



市スポーツ協会主催「スポーツ学習・講習会」

イ スポーツ推進委員と連携し、地域におけるスポーツの推進役を担ってもらうなど、地域スポーツの推進を図ります

- ・ スポーツ推進委員（協議会）の活動支援



スポーツ推進委員の研修

- ウ 市スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ指導者協議会、学区体育振興会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団などと協力してスポーツの振興を図ります

- ・ 社会体育団体等への補助

- エ 企業等と連携してスポーツに親しむ機会を創出します

- ・ 民官連携事業の推進
- ・ 連携協定締結事業者等との事業の推進



F・マリノススポーツクラブと連携した巡回スポーツ教室

(7) 子どもの健やかな体を育成します

- ア 体力・運動能力、運動習慣等の実態把握と調査結果の活用を図ります

- ・ 児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の調査・分析
- ・ 新体力テスト測定員派遣
- ・ 学校体育授業サポーター派遣
- ・ スポーツ能力測定会の開催（シティサポートよこすか主催）



学校体育授業サポーターの派遣

イ 学校における体育・健康に関する指導の充実を図ります

- ・ 健康、体力に関する指導力の向上
- ・ 学校体育実技指導協力者の派遣
- ・ 学校体育に関する小中学校への研究委託
- ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する健康教育の推進
- ・ スポーツリズムトレーニング普及事業



スポーツリズムトレーニング普及事業

ウ 学校における食育の充実を図ります

- ・ 学校における食育の推進
- ・ 安全、安心な学校給食の提供と充実



横浜 DeNA バイスターズの選手寮メニュー
「青星寮カレー」を学校給食で提供

工 望ましい生活習慣の確立に向けた支援を図ります

- ・ 学校と家庭が連携した生活習慣、運動習慣に関する意識啓発

オ 運動やスポーツに親しむ機会の充実を図ります

- ・ 児童生徒各種競技大会の実施
- ・ 中学校部活動の支援（体育関係）
- ・ 横須賀総合高等学校部活動の強化育成
- ・ 各種競技大会への選手派遣に対する奨励
- ・ スポーツ能力測定会の開催（シティサポートよこすか主催）



横須賀市中学校総合体育大会総合開会式

カ スポーツを実施する子どもたちの安全・安心を確保します

- ・ 少年期スポーツ障害予防対策事業

第3章 目標指標及び進捗管理

「スポーツ推進計画」を実効あるものとするために、計画に位置付けた施策が具体的に執行されているかどうかといったことについて、目標指標を立て、点検・評価による進行管理を行います。

点検・評価の結果については、毎年、市議会や関係審議会に報告するとともに、市民に公表し、集約された意見については、計画の進行や見直しなどに活かしていきます。

※各指標における目標値は、令和7年度（2025年度）末の数値となります。

指標名	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数	目標	スポーツによる地域の活性化を図ります
		施策	・ウインドサーフィンワールドカップの継続開催 ・三笠艦記念スポーツひのまるキッズ 関東小学生柔道大会の継続開催 ・BMXフリースタイルジャパンカップの継続開催 ・「JAPAN DANCE DELIGHT 横須賀大会」の新規開催 ・「高校ストリートダンスグランプリ」の新規開催
概要	大規模スポーツ大会等の誘致・開催件数から本市におけるスポーツ参画人口の拡大を図ります		
基準値	5大会（平成29年度）	目標値	6大会以上 ※過去の最高値の件数以上

指標名	成人のスポーツ実施率	目標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります
		施策	・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等
概要	市民が週に1回以上スポーツを実施する割合から市民が日常的にスポーツに親しむ機会を増やします		
基準値	48.4% （平成28年度週に1回以上スポーツや運動をしている人）	目標値	65% ※スポーツ基本計画での目標値（成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度））

指標名	市民スポーツ教室、スポーツフェスタ参加人数	目標	誰もが気軽にスポーツ、レクリエーションを楽しむことができる機会の充実を図ります
		施策	・市民スポーツ教室 ・市民レクリエーション行事等
概要	市民スポーツ教室及びスポーツフェスタ参加人数から市民の誰もが日常的にスポーツに親しみ、又はスポーツを支える活動に参画する機会を増やします		
基準値	8,714 人（平成 23 年度）	目標値	9,000 人 ※平成 24～平成 28 年度の最高値の千人未満を切り上げ

指標名	全国大会以上の大会に出場する選手数（生徒は県、関東大会を含む）	目標	国際大会等で活躍する横須賀育ちの代表選手の輩出を目指します
		施策	・国県体育大会等選手派遣事業
概要	国際競技大会や全国大会に出場する選手に対し、報償金の交付や壮行会などを実施して選手の負担軽減とともに代表選手の意識の高揚を図り、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めます		
基準値	2,446 人（過去 5 年間の最高値）	目標値	2,500 人 ※平成 25～28 年度の最高値を切り上げ

指標名	体育会館の利用者数	目標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します
		施策	・体育会館、屋外運動施設の管理委託
概要	体育会館の効率的な活用を図るため、運営維持管理業務を指定管理者に委託するとともに計画的な施設整備を行い、利用者の増加を図ります		
基準値	842,346 人（平成 28 年度）	目標値	850,000 人 ※平成 24～28 年度の最高値を切り上げ

指標名	運動公園の利用件数	目標	スポーツの場を提供するため、スポーツ施設の整備と円滑な管理運営、学校体育施設等の開放を推進します
		施策	・体育会館、屋外運動施設の管理委託
概要	スポーツ施設の運営方法を検討するとともに、計画的な施設整備を行う		
基準値	97,155 件（平成 28 年度）	目標値	98,000 件 ※平成 24～28 年度の最高値の千人未満を切り上げ

指標名	「運動が好き・やや好き」と回答する本市児童生徒の割合	目標	子どもの健やかな体を育成します
		施策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、「運動が好き・やや好き」と回答した児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、児童生徒の運動やスポーツに対する肯定的な意識の状況を測ります （小学校 5 年生、中学校 2 年生）		
基準値	【小学校 5 年生男子】 93.9% 【小学校 5 年生女子】 88.3% 【中学校 2 年生男子】 91.8% 【中学校 2 年生女子】 77.9% （令和元年度）	目標値	【小学校 5 年生男子】 95.0% 【小学校 5 年生女子】 90.0% 【中学校 2 年生男子】 92.0% 【中学校 2 年生女子】 79.1%

指標名	1 週間の総運動時間が 0 分の児童生徒の割合	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の質問紙調査の結果における、1 週間の総運動時間が 0 分の本市児童生徒の割合から、児童生徒の運動習慣の状況を測ります（小学校 5 年生、中学校 2 年生）		
基準値	【小学校 5 年生男子】 4.4% 【小学校 5 年生女子】 6.6% 【中学校 2 年生男子】 5.9% 【中学校 2 年生女子】 13.9% （令和元年度）	目標値	【小学校 5 年生男子】 1.2% 【小学校 5 年生女子】 2.0% 【中学校 2 年生男子】 2.6% 【中学校 2 年生女子】 6.9%

指標名	児童生徒の新体力テスト結果 の総合評価 D・E の割合の合計	目 標	子どもの健やかな体を育成します
		施 策	学校における体育・健康に関する指導の充実
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における、新体力テスト結果の総合判定 D・E の本市児童生徒の割合と、全国の平均値を比較することから、体力下位層の子どもの状況を測ります（小学校 5 年生、中学校 2 年生）		
基準値	【小学校 5 年生男子】 35.7% 【小学校 5 年生女子】 29.8% 【中学校 2 年生男子】 26.2% 【中学校 2 年生女子】 9.6% （令和元年度）	目標値	【小学校 5 年生男子】 28.7% 【小学校 5 年生女子】 22.5% 【中学校 2 年生男子】 26.0% 【中学校 2 年生女子】 9.0%

指標名	朝食を食べない日が多い・ 食べない児童生徒の割合の合計	目標	子どもの健やかな体を育成します
		施策	学校における食育の充実
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「朝食を食べない日が多い」・「食べない」と回答した児童生徒の割合の合計から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	【小学校5年生男子】 3.3% 【小学校5年生女子】 3.2% 【中学校2年生男子】 6.2% 【中学校2年生女子】 5.6% （令和元年度）	目標値	【小学校5年生男子】 1.6% 【小学校5年生女子】 1.2% 【中学校2年生男子】 3.0% 【中学校2年生女子】 2.8%

指標名	1日の睡眠時間が6時間未満の児童生徒の割合	目標	子どもの健やかな体を育成します
		施策	望ましい生活習慣の確立に向けた支援
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における1日の睡眠時間が6時間未満と回答した児童生徒の割合から、学校と家庭の連携による望ましい生活習慣の定着状況を測ります（小学校5年生、中学校2年生）		
基準値	【小学校5年生男子】 4.3% 【小学校5年生女子】 2.4% 【中学校2年生男子】 9.6% 【中学校2年生女子】 9.0% （令和元年度）	目標値	【小学校5年生男子】 1.5% 【小学校5年生女子】 0.9% 【中学校2年生男子】 4.4% 【中学校2年生女子】 4.5%

指標名	児童生徒の体力合計点	目標	子どもの健やかな体を育成します
		施策	・児童生徒の体力・運動能力、 運動習慣等の調査・分析
概要	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果における体力合計点の本市児童生徒の平均値と、全国平均値の比較から、子どもの体力の状況を測ります (小学校5年生、中学校2年生)		
基準値	【小学校5年生男子】 52.59 点 【小学校5年生女子】 54.23 点 【中学校2年生男子】 42.67 点 【中学校2年生女子】 51.00 点 (令和元年度)	目標値	【小学校5年生男子】 54.59 点 【小学校5年生女子】 56.23 点 【中学校2年生男子】 43.47 点 【中学校2年生女子】 51.80 点

用語の解説

アーバンスポーツ

BMX、スケートボード、ストリートダンス、3×3、パルクールなどの都市型スポーツの総称。

ウインドサーフィンワールドカップ

ウインドサーフィンの世界最高峰の大会「PWAワールドカップ」は、毎年ヨーロッパを中心に約10か国転戦するワールドツアーです。

健康寿命

平均寿命のうち、日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のこと。WHO（世界保健機関）が提唱した指標で、平均寿命から、衰弱・病気・認知症などによる介護期間を差し引いたもの。

社会体育

学校教育法に基づき学校の教育課程として行われる教育活動を除く、主として青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーションの活動を含む）

スポーツ少年団

地域社会においてスポーツ活動を中心に組織的な活動をしている少年のスポーツクラブで、日本スポーツ少年団に登録をしてその認定を受けている。

スポーツ推進委員

スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対し、スポーツにおける実技の指導やその他スポーツに関する指導および助言を行う者。非常勤職員として市長が委嘱している。

スポーツ推進委員協議会

本市のスポーツ推進委員相互の連絡調整とスポーツ推進のため体制の整備を図り、地域社会体育の推進に寄与することを目的とし、主に社会体育の推進に関し関係行政機関との連絡調整、町内会等地域諸団体の体育及びレクリエーション活動の実技指導及び助言などを行う。任意団体。

スポーツ・レクリエーション活動

本市のスポーツとして行われるレクリエーション活動のこと。心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現等のために行われる活動としてスポーツ基本法第24条において新たに位置づけられた。

総合型地域スポーツクラブ

子どもから高齢者まで（多世代）を対象として、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、技能の高低や障害の有無などに関わらずそれぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ。

BMX

競技は、技を競うエクストリームスポーツとして広く知られる「フリースタイル」と、ジャンプ台が設置されたダートコースで速さを競う「レース」の 2 系統があるバイシクルモトクロス。競技用車両は、20 インチ径ホイールを持つ競技用自転車です。オフロードを走るための自転車。

トレイルランニング

林道、砂利道、登山道など未舗装路を走ること。